

6361-1049  
平成24年3月9日

各関係機関長  
各病虫害防除員 様

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

平成23年度病虫害発生予察特殊報第2号について

平成23年度病虫害発生予察特殊報第2号を発表したので送付します。

---

## 平成23年度病虫害発生予察特殊報第2号

1 病虫害名：サツマイモヒサゴトビハムシ *Chaetocnema confinis* Crotch

2 作物名：サツマイモ

3 発生確認の経過

平成23年3月下旬、県南部の南那珂地域において、葉に細かな線状の食害を受けた苗があるとの情報提供を受け、現地を調査したところ、サツマイモの葉を加害する食害性昆虫を確認した。門司植物防疫所へ同定を依頼したところ、県内未発生のサツマイモヒサゴトビハムシ *Chaetocnema confinis* Crotchであることが確認された。現在のところ、南那珂地域以外での発生は確認されていない。

4 形態及び生態の特徴

形態：成虫の体長は約1.6mm。だ円形で、ブロンズがかった黒色。上翅には列状に強い点刻が認められる。また、後脚腿節の幅が広く、触角及び脛節は赤みがかった黄色である。

分布：北米、台湾、パラオ諸島、アフリカなどに分布している。国内では、琉球諸島、奄美諸島、種子島、鹿児島県薩摩半島の一部地域で確認されている。

寄主植物：サツマイモ等ヒルガオ科植物、特にサツマイモ属に寄生する。

被害：成虫は葉を細かな線状に加害するが、経済的被害は不明である。しかし、幼虫は塊根の表面を線状に加害し、品質低下につながるため、経済的被害が発生することがある。

5 防除対策

本虫を対象として農薬登録されている薬剤はない。

春先の育苗床において抱卵した雌成虫が確認されているため、定植にあたっては、葉の加害痕が認められる苗を避ける等、本虫のほ場への持ち込みを防止する。



写真1 サツマイモヒサゴトビハムシ成虫



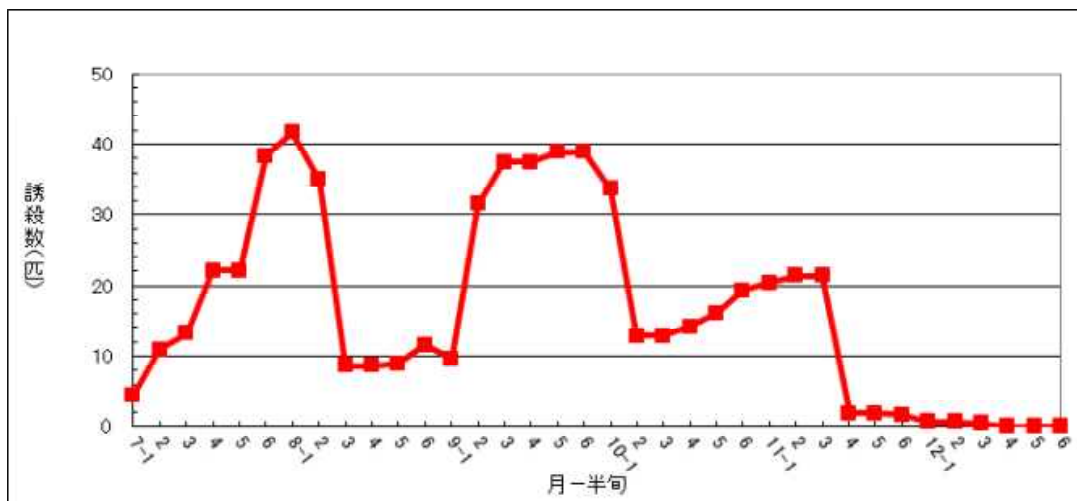
写真2 葉上の成虫



写真3 葉の食害痕



写真4 塊根の被害



(参考) ほ場におけるサツマイモヒサゴトビハムシ成虫の誘殺数  
(黄色粘着板、南那珂地域、平成23年7月～12月調査)

《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 中村正和

TEL:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127

E-mail:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp